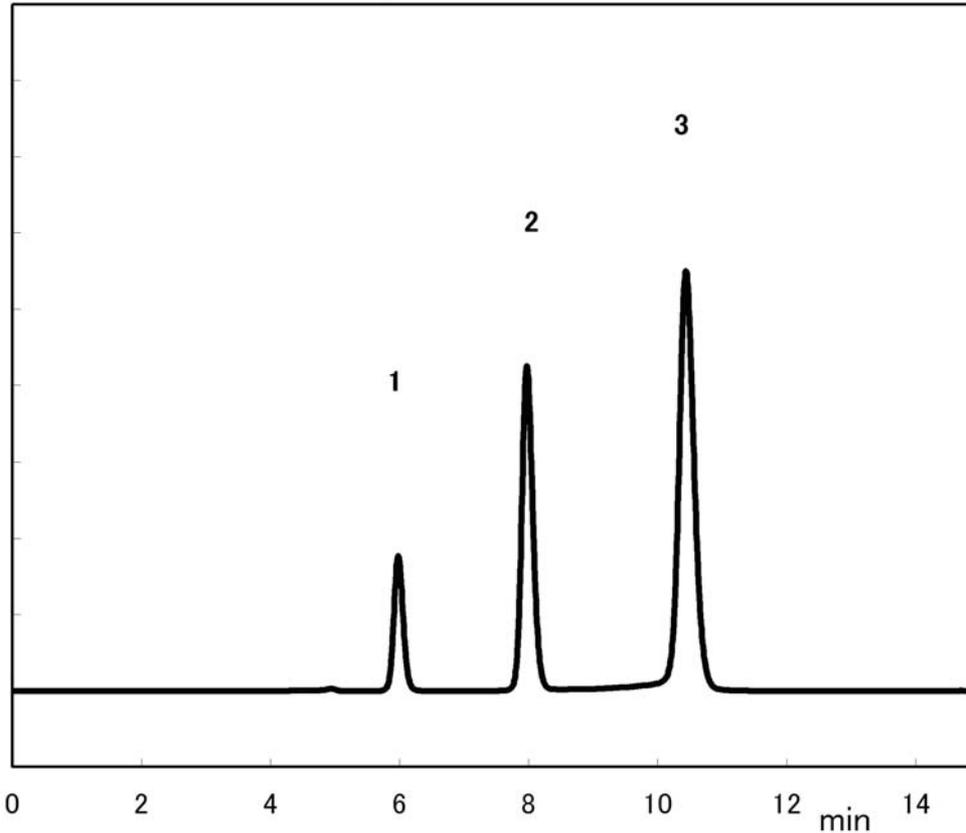




ウワウルシの成分定量法:カラムの選定

—第十六改正 日本薬局方より—



Column: TSKgel ODS-100V 5 μ m
(4.6mmI.D. x 15cmL)

Column temp.: 25 $^{\circ}$ C

Eluent: H₂O:CH₃OH:0.1mol/L HCl
=94:5:1

Flow rate: 1.0 mL/min

Detector: UV (280nm)

Injection vol.: 10 μ L

Concentration: 500 ng/mL

Samples:

1: Arbutin

2: Hydroquinone

3: Gallic acid

$R_s(1/2) = 7.0$, $R_s(2/3) = 6.7$



ウワウルシ

—第十六改正 日本薬局方より—

定量法 ……

操作条件

検出器: 紫外吸光光度計(測定波長: 280 nm)

カラム: 内径 4~6 mm、長さ 15~25 cm のステンレス管に 5~10 μ m の液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度: 20 °C 付近の一定温度

移動相: 水 / メタノール / 0.1mol/L 塩酸試液混液 (94:5:1)

流量: アルブチンの保持時間が約 6分になるように調整する。



ウワウルシ

—第十六改正 日本薬局方より—

定量法 ……

操作条件

…

カラムの選定

： 定量用アルブチン、ヒドロキノン及び没食子酸 0.05gずつを水に溶かして 100mL とする。この液10 μ Lにつき、上記の条件で操作するとき、アルブチン、ヒドロキノン、没食子酸の順に溶出し、それぞれのピークが完全に分離するものを用いる。